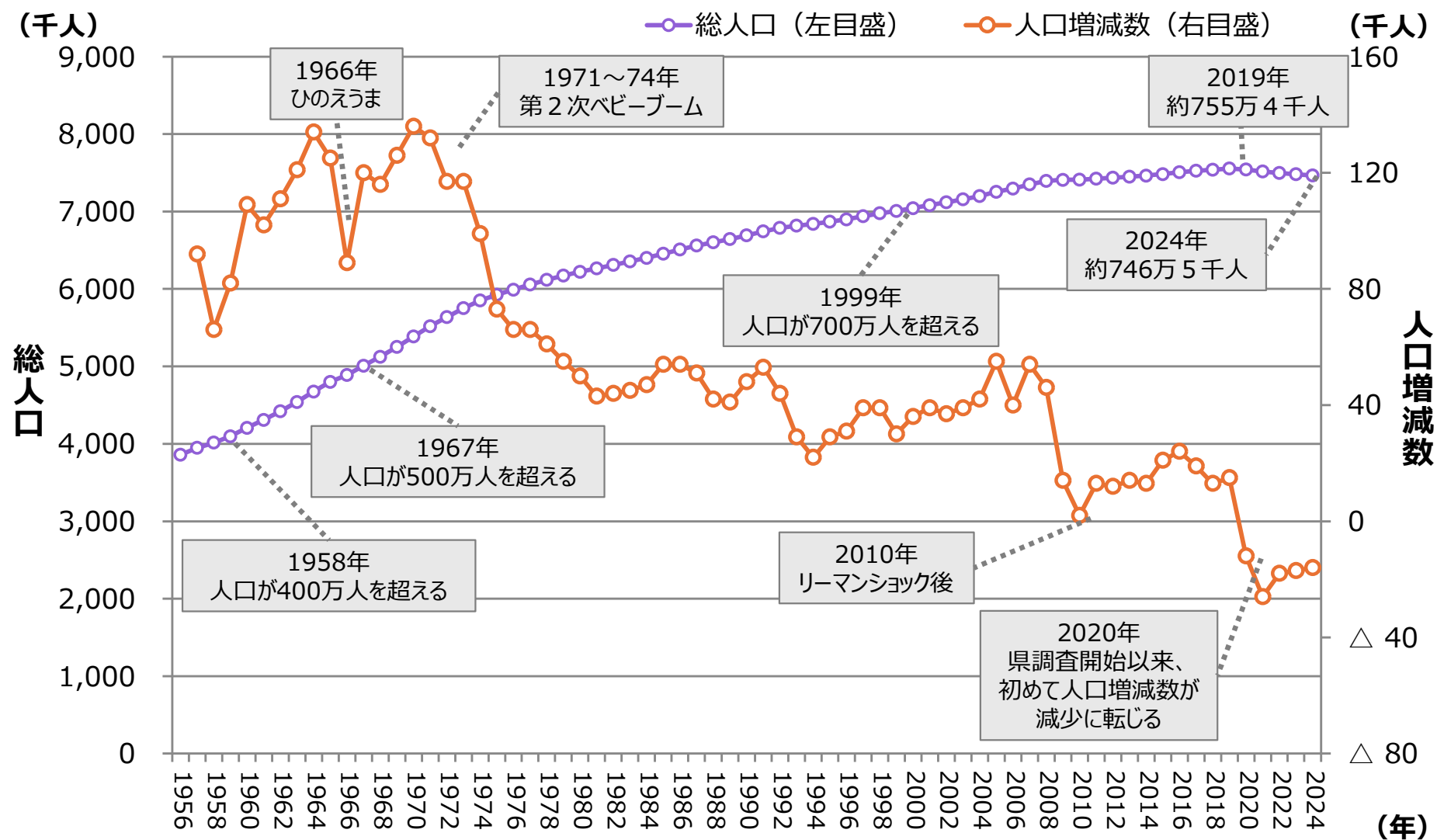


愛知県の人口動向について

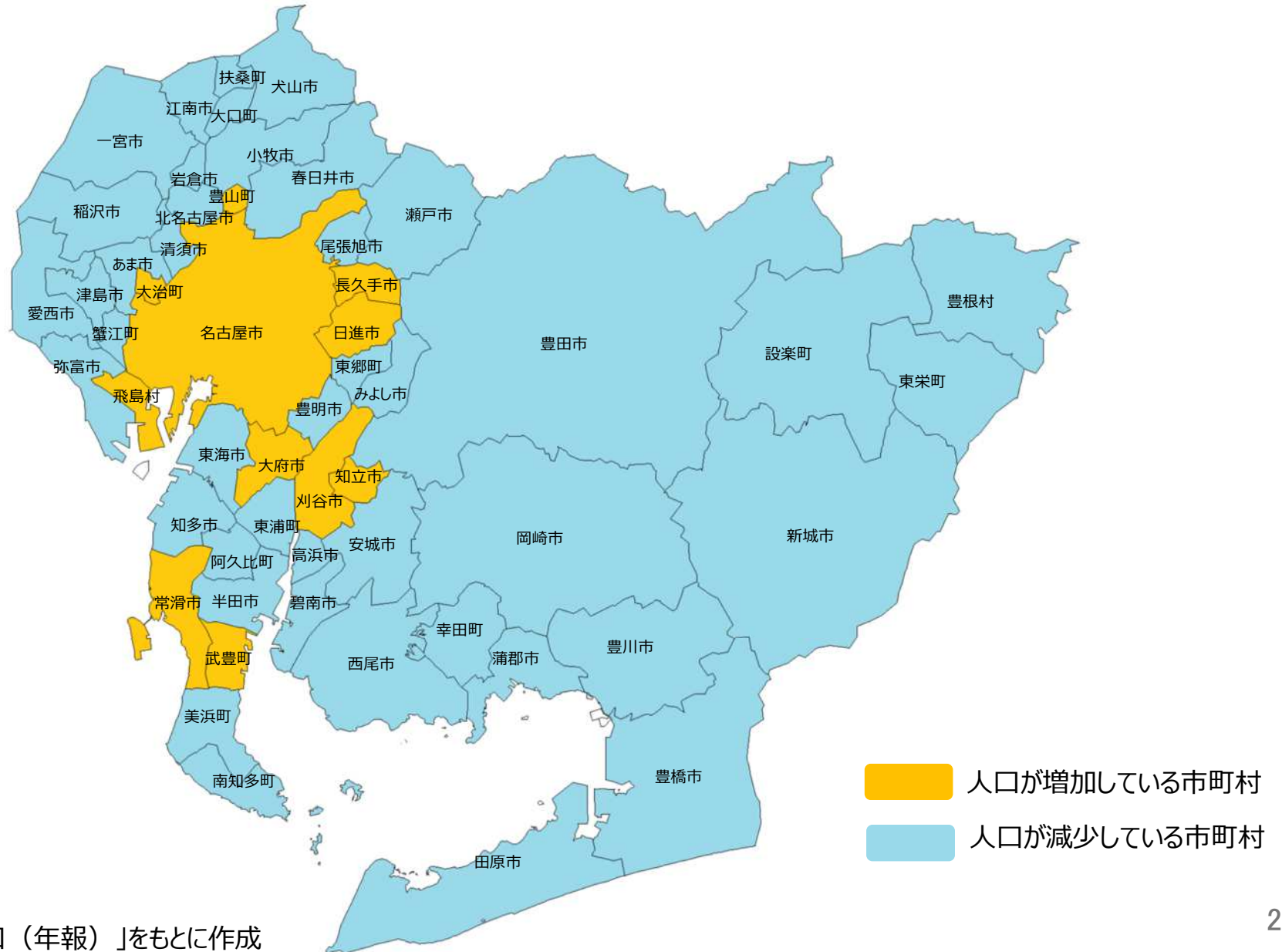
愛知県の総人口・人口増減数の推移

- 愛知県の人口は、2019年の約755万4千人をピークに5年連続の減少となり、2024年10月1日時点で約746万5千人。



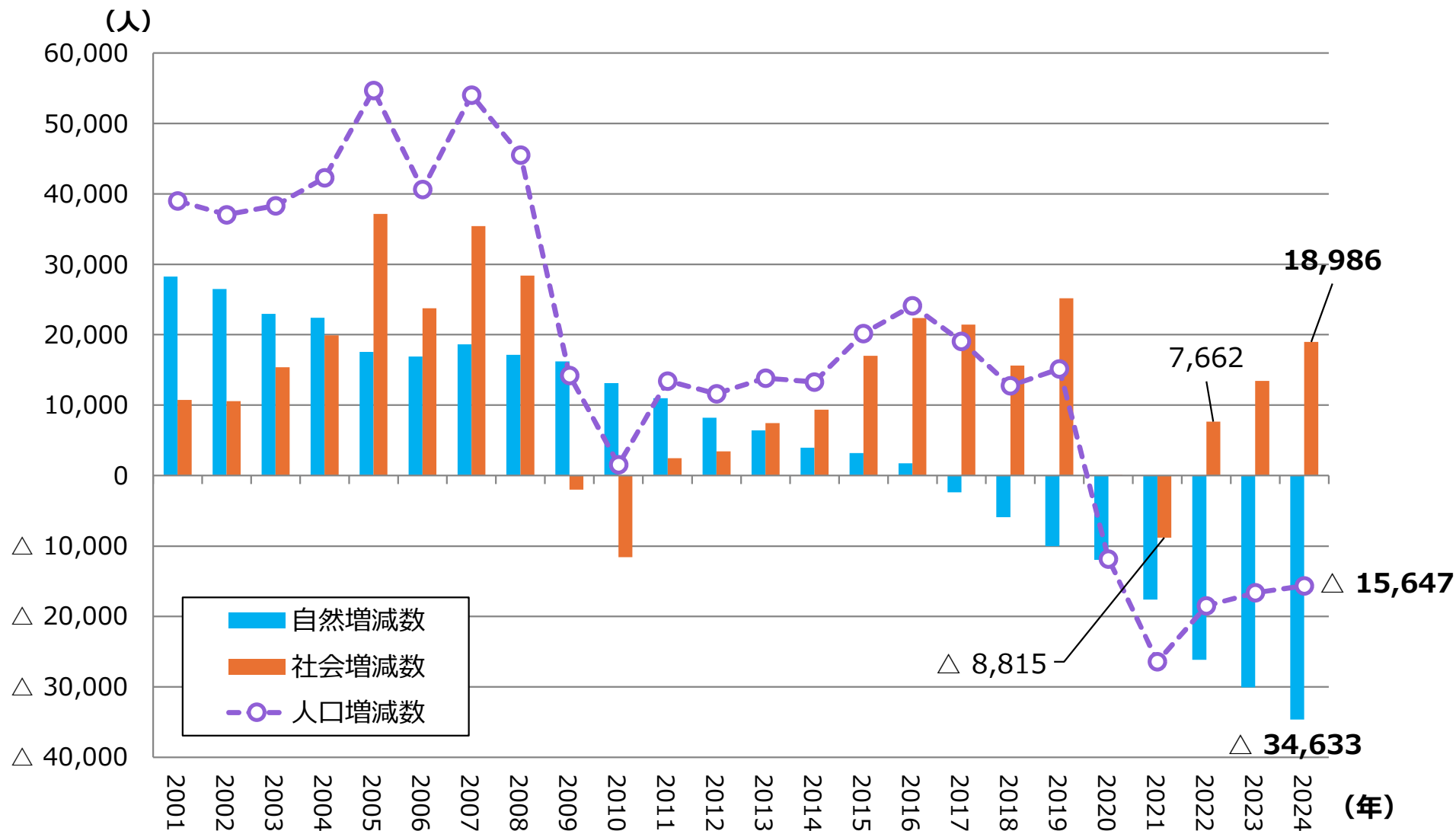
市町村別人口

- 2023年10月～2024年9月の人口増減数を県内の市町村別に見ると、県内54市町村のうち、11市町村で増加した一方、43市町村で減少しており、人口減少地域は県内全域に広がっている。



自然増減・社会増減別の人口増減数の推移

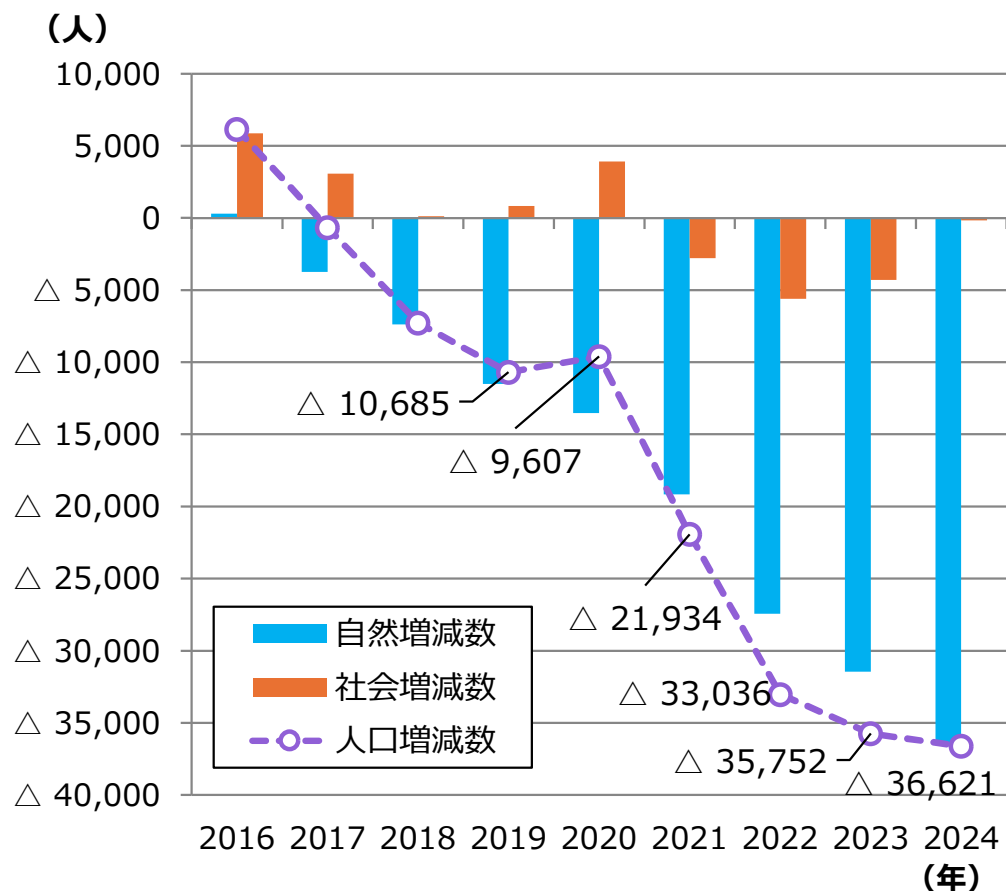
- 自然増減数は、2017年に減少に転じて以降、減少幅が拡大しており、2024年は34,633人の減少。
- 一方、社会増減数は、経済環境や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2021年は11年ぶりに減少となったが、2022年から増加に転じ、2024年は18,986人の増加となった。



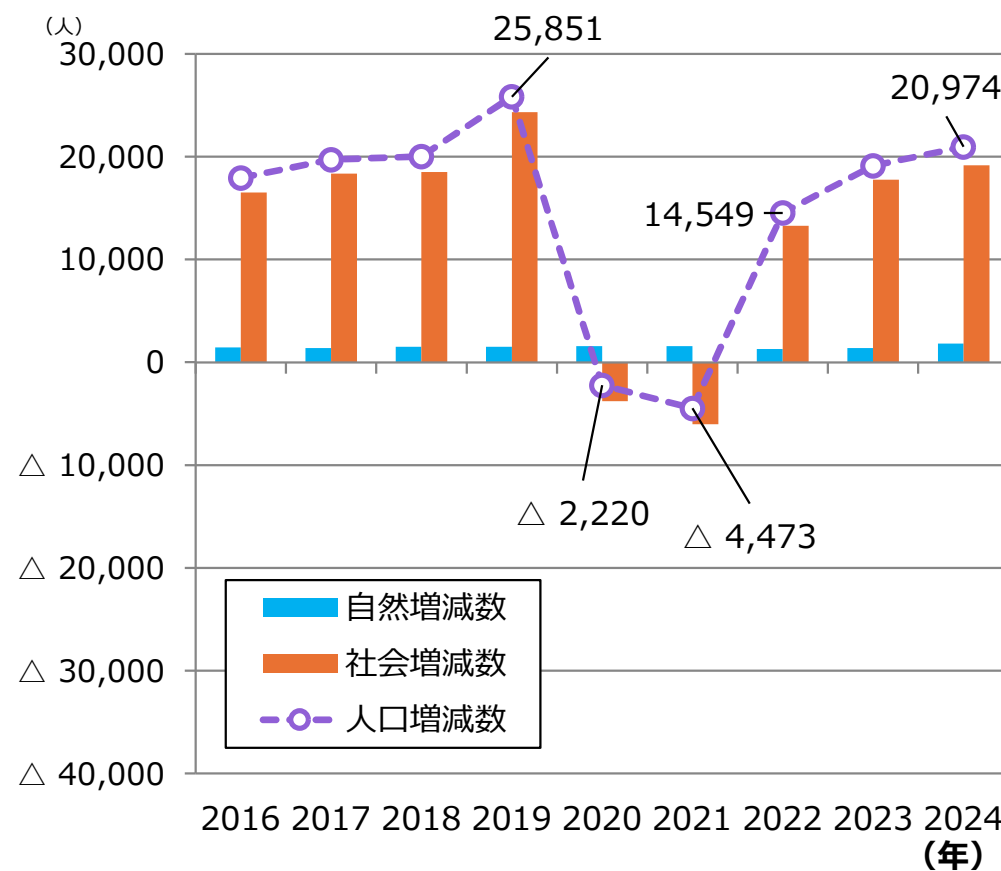
日本人・外国人別の人口増減数の推移

- 県内の日本人人口は、自然減の拡大に伴い、減少幅が拡大している。
- 外国人人口は、2019年は年2万人を超える増加であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制等により、2020年及び2021年は減少となった。入国規制の緩和等に伴い、2022年に再び増加に転じ、2024年は20,974人の増加となった。

日本人人口

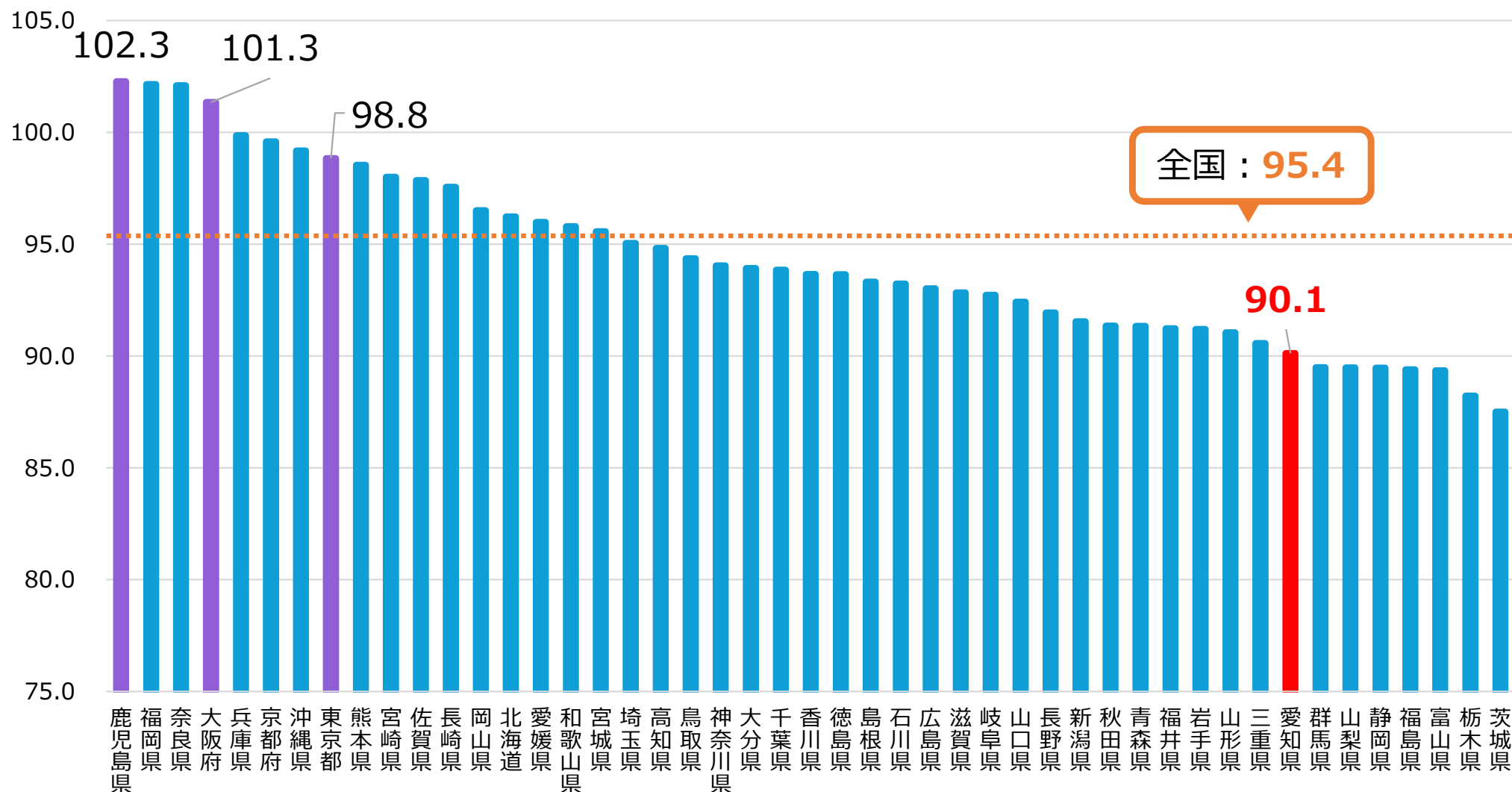


外国人人口



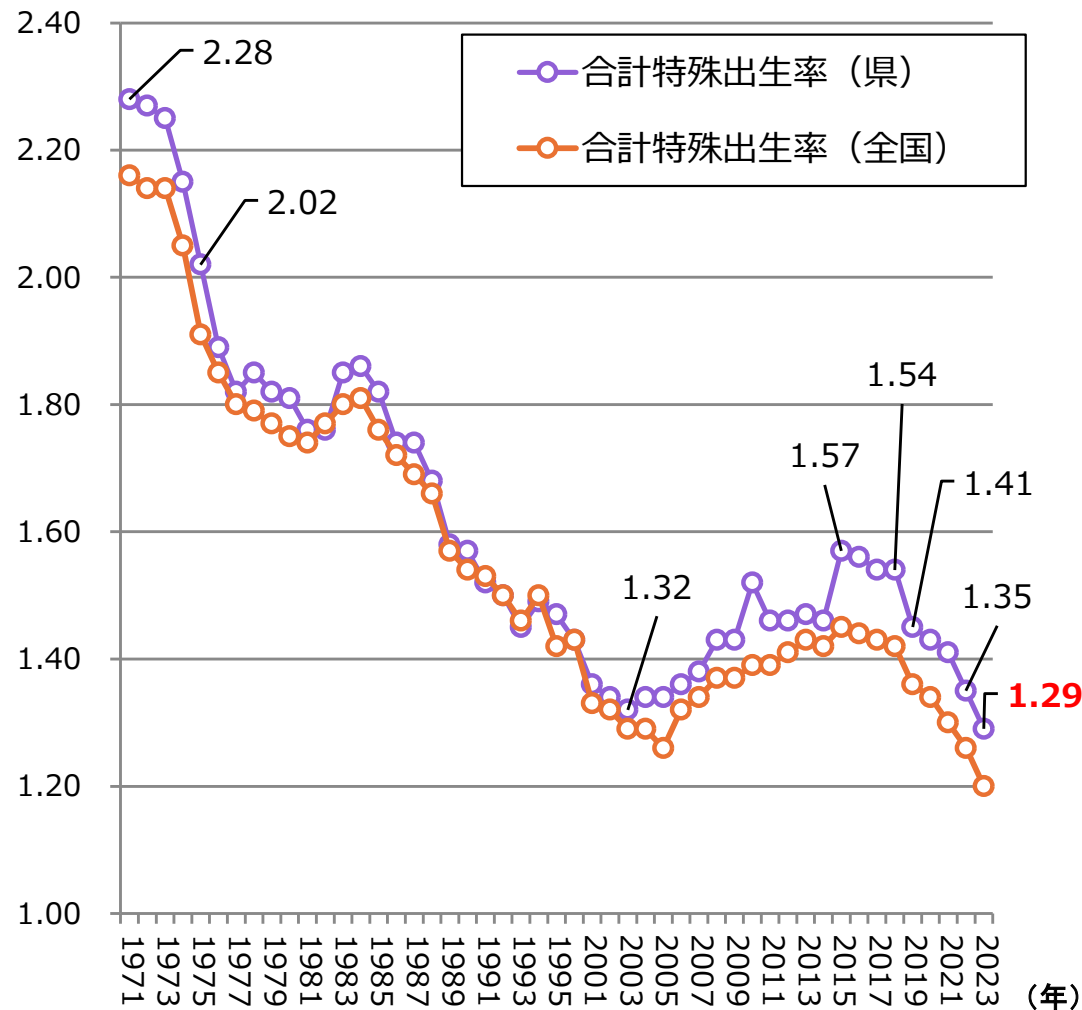
人口の男女比

- 2024年1月1日時点での20～39歳の男性100人に対する同世代の女性数は90.1人となっており、全国平均の95.4人と比べて低く、都道府県別では8番目に低い。



合計特殊出生率の推移

- 愛知県の合計特殊出生率は、2003年の1.32を底に緩やかな上昇傾向が続いていたが、2015年を境に低下傾向となり、2023年は1.29と、過去最低値となっている。
- 都道府県別では、高い方から25番目で、大都市圏の中では高い水準となっている。



【都道府県別合計特殊出生率】

順位	都道府県名	合計特殊出生率
1	沖縄県	1.60
2	長崎県	1.49
2	宮崎県	1.49
4	鹿児島県	1.48
5	熊本県	1.47
6	佐賀県	1.46
6	島根県	1.46
6	福井県	1.46
9	鳥取県	1.44
10	山口県	1.40
10	香川県	1.40

25	愛知県	1.29
----	-----	------

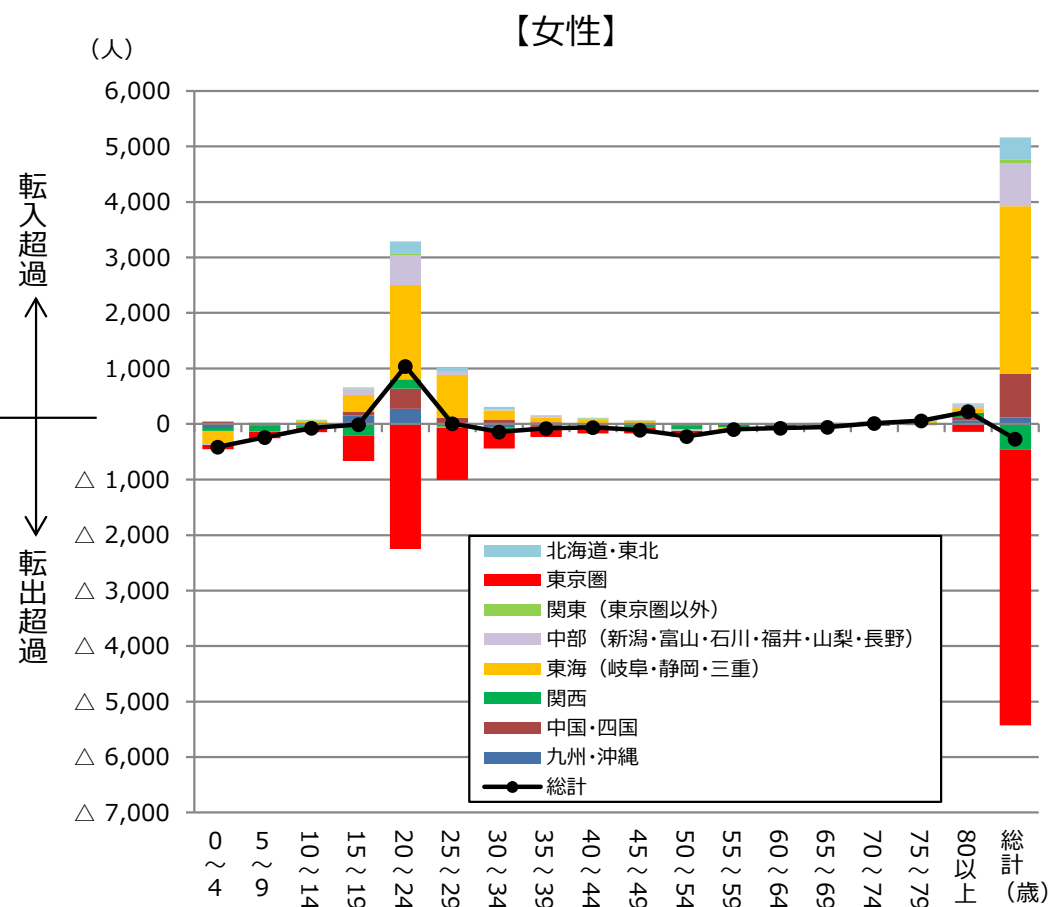
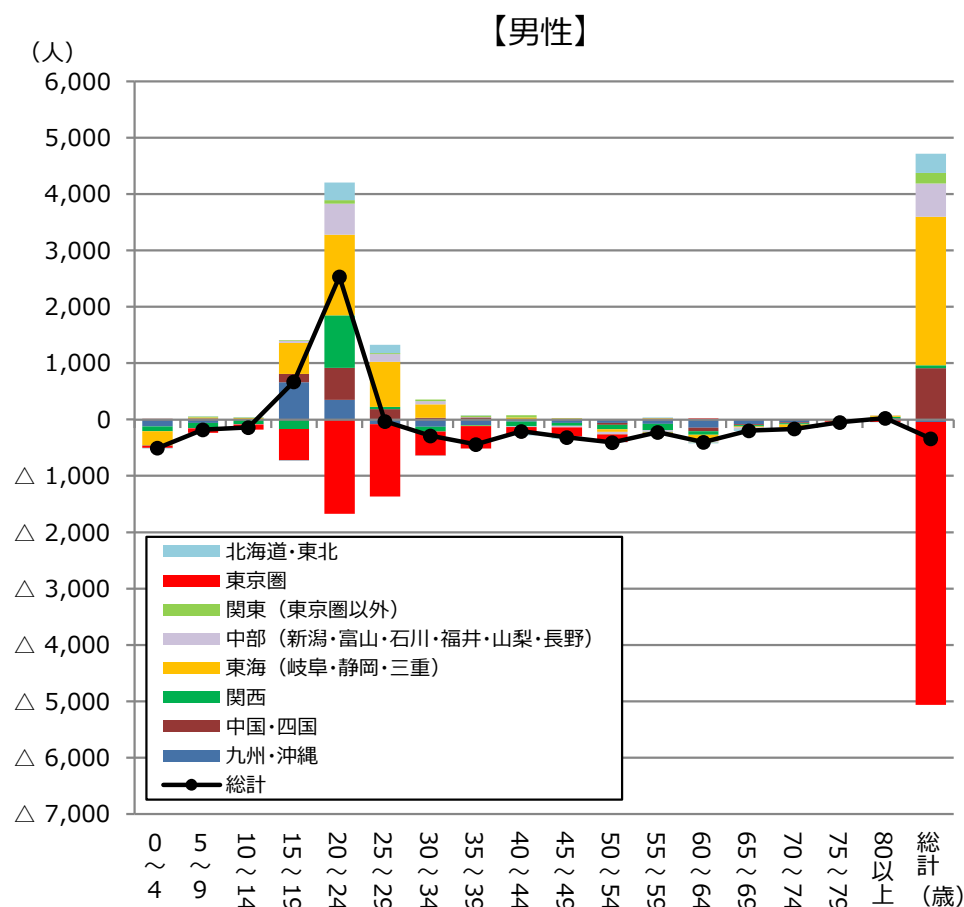
37	栃木県	1.19
37	大阪府	1.19
39	岩手県	1.16
40	埼玉県	1.14
40	千葉県	1.14
42	神奈川県	1.13
43	京都府	1.11
44	秋田県	1.10
45	宮城県	1.07
46	北海道	1.06
47	東京都	0.99

全国	1.20
----	------

男女別・年齢別転出入超過数（国内移動）

- 男性は、15～24歳で東海、中国・四国、九州・沖縄などを中心に転入超過となっているが、東京圏（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）に対しては、20～29歳で転出超過が大きくなっている。
- 女性は、東海からの転入超過が男性よりも大きいですが、東京圏に対しては、大学卒業後の就職時に当たる20～24歳における転出超過が、男性よりも大きくなっている。

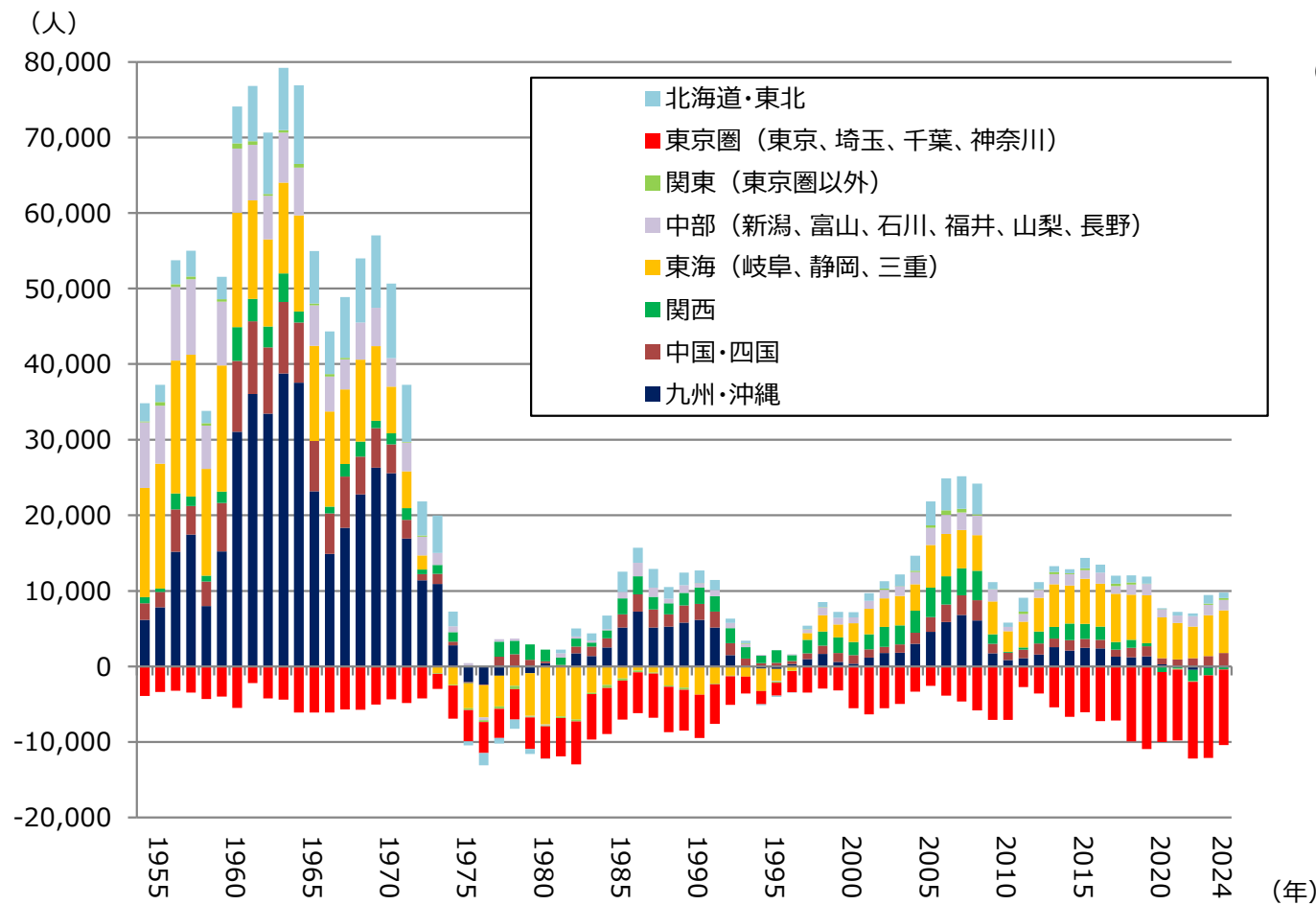
愛知県の男女別・年齢階級別の人口移動状況（2024年）



転出入超過数の推移

- 近年では、東京圏に対し、毎年 1 万人程度の転出超過が続いているほか、関西に対しても転出超過の傾向にある。

■ 本県と全国地域ブロック別の転出入の推移



■ 転入超過数累計（1954年～2024年）

